

社会福祉法人 寛寿会 令和6年度事業報告書

【法人の運営】

(1) 所 在 長崎県佐世保市俵ヶ浦町210番地

(2) 法人の運営方針

社会福祉の担い手としてふさわしい事業を確立、効果的かつ適正に行う為に自主的にその経営基盤の強化を図ると共に、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

(3) 事業内容

【社会福祉事業】

特別養護老人ホームの経営
老人短期入所事業の経営
老人デイサービス事業の経営

【公益事業】

居宅介護支援事業

(4) 役 員 数 理 事 6名、 監 事 2名

任 期;(令和5年年6月17日～令和7年6月定時評議員会迄)

(5) 役員名簿(令和7年3月28日現在)

役職名	氏 名	主たる職歴・社会活動歴、その他
理事長	土井添 寛 史	(社福)民生会 評議員、特養・海南荘 前 施設長、元 副施設長 特養・温水園 元 介護職員、元 九十九地区主任児童委員
業務執行 理 事	森 本 直 樹	特養・海南荘 施設長、前 副施設長、元 小規模多機能施設 管理者、デイサービス・海南荘 元 介護職員
理 事	中 里 義 継	前 野崎町公民館長、元 薬品会社勤務、元 病院勤務
”	柏 木 幸 生	佐世保警察補導員、佐世保市体育指導員、会社員(嘱託)
”	松 島 紀代志	税理士、行政書士、元 国税調査官、元 税務署勤務
”	下 川 圭 子	居宅介護支援事業所・海南荘 管理者、同・介護支援専門員
監 事	山 口 清 政 【評議員選任・解任委員】	(社福)長崎博愛会 特養・佐世保福寿園 元 施設長、元 副施設長 同・元 事務長、佐世保祐生園 元 作業指導員、元 作業主任
”	金 子 由美子	元 市役所勤務、元 市役所非常勤嘱託、元 民生児童委員

(6) 理事会の開催状況 (令和6年度 3回開催)

開催年月日	場 所	議 題
06.05.31	海南荘 2F研修室	監事監査報告、令和5年度資金収支決算(案)、給与規程改正、就業規則改正、令和5年度海南荘事業別実績報告、評議員欠員補充、評議員選任・解任委員外部委員選任、評議員会開催日時・議案
06.10.30	海南荘 2F研修室	令和5年度第一次補正予算(案)、給与規程改正、人事関係
07.03.28	海南荘 2F研修室	令和6年度第二次補正予算・同7年度資金収支予算(案)、令和6年度事業報告・同7年度事業計画(案)、就業規則改正改築計画経過報告、理事・監事任期満了、人事関係、市運営指導結果報告、評議員選任・解任委員任期満了

(7) 監事監査の実施状況

開催年月日	場 所	監査担当者名	監 査 結 果
06.05.28	特別養護老人ホーム 海南荘 2F研修室	山口清政 金子由美子	経理状況、利用者預り金、諸規則整備状況、証憑書類整備状況、理事会議事録内容確認 人事労務管理、施設・事業運営管理

(8) 評議員数 7名(任期;令和4年6月18日～令和8年定時評議員会迄)
【高橋評議員:令和6年6月15日就任、前任者の南部評議員の残任期間となる】

(9) 評議員名簿(令和7年3月28日現在)

役職名	氏 名	主たる職歴・社会活動歴、その他
評議員	佐 伯 公 子	前 寛寿会理事、俵ヶ浦町民生児童委員、前 俵ヶ浦町婦人部長 特養・海南荘 元 生活相談員、同・介護主任
〃	山 田 信 弘	前 寛寿会理事、庵浦町・六大寺住職、保護司、 前 九十九地区主任児童委員・庵浦町民生児童委員
〃	松 田 律 子	(社福)民生会 前 理事、総合スポーツクラブ江迎 前 副会長 前 佐世保地区障がい者就労支援協議会役員
〃	佐 野 和 子	九十九地区主任児童委員・俵ヶ浦町民生児童委員 元 会社員
〃	山 本 みづほ	長崎純心大・長崎短大・佐世保女子高校非常勤講師 (社福)日野進徳会 評議員、前 長崎県公立学校教諭
〃	野 田 直 則	保険会社 嘱託、保険会社 前 代表、元 佐世保重工業勤務
〃	高 橋 まゆみ	船越・石岳町民生児童委員、同町内会クリーン推進委員 元 協業組合事務員

(10) 評議員会の開催状況

開催年月日	場 所	議 題
06.06.15	ホテル フラッグス	監事監査報告、令和5年度資金収支決算(案)、 評議員退任者の補充に伴う選任

(11) 役員の研修参加状況

開催年月日	場 所	研 修 内 容
	無 し	

(12) 大規模施設整備(500万円以上)の実績

工事期間	工 事 内 容	工 事 金 額	資 金 内 訳	工事業者名
	無 し			

(13) 中規模施設整備(300万円以上500万円未満)の実績

工事期間	工 事 内 容	工 事 金 額	費 用 内 訳	工事業者名
	無 し			

法人事業実績報告

社会福祉法人寛寿会は、法人開設より40期を終えた。社会福祉を標榜する法人として、地域の福祉ニーズに応えるべく果敢に挑戦を繰り返しているが、何よりも利用者・家族・地域・職員にとって望まれサービスや支援・法人の在り方を常に念頭に置き、事業実施に努めてきた。

令和6年度は、既存事業の収益性を含めた事業推進体制の再評価、人事評価制度の推進、業務基準書(マニュアル)の運用、生産性向上の推進、職員定着に注力した。

また感染が拡大していた新型コロナウイルスについては、各所属主任者を中心にリスクを想定した迅速な対応、行政等からの情報収集、医療機関及び事業所間での情報共有に奔走し、施設内療養の実施及び感染拡大の防止に努めた。

いずれの事業も、地域に望まれ、そのニーズに即した事業を今後も継続・展開していく。人材の確保・育成・定着等の諸課題や感染症・災害等の影響も懸念されるが、あらゆるリスクを想定し、堅実で着実な歩みを進めていく。

〔社会福祉法人寛寿会運営事業〕

令和6年度に実施した運営事業は以下のとおり

・第1種社会福祉事業

特別養護老人ホーム海南荘(介護老人福祉施設・長期入所事業)

・第2種社会福祉事業

短期入所(介護予防)生活介護事業 ※特養併設

地域密着型通所介護事業

・公益事業

居宅介護支援事業

・収益事業

該当なし

特別養護老人ホーム海南荘 事業実績報告

令和6年度は前年度特養ホームで発生した不適切ケア再発防止策を徹底するため、重点目標にもある『ガバナンス(組織統制)の強化と法人管理体制の構築』『健全経営を目的とした管理職層の意識改革』『働きやすい環境づくりに向けた取り組み』を基本方針として業務執行に努めた。介護保険制度改正も相まって、年度前半はサービス種別ごとに定められた事業運営基準を基に、ケアの実際について現状との差異を確認し、業務基準書(マニュアル)を作成し、基準書の内容を踏まえながら評価及び改善を行った。更に長年着手していなかった特養ホームのタイムスケジュールの業務改善に着手し、時間外労働の慢性化が改善した。

年度後半は人事考課制度導入に伴う、職員面談の実施や健全経営を目的とした管理職層の意識改革を実施し、ガバナンス(組織統制)強化の実現化を図った。またケアの評価・改善を行いつつ、環境の整備を中心とした業務執行に努めた。具体的には職員同士の情報伝達の改善を図るため、県の介護テクノロジー普及促進事業補助金を活用しインカムやタブレットの導入を行った。

利用者の安全の確保、特に感染症についてはインフルエンザの罹患者は0名であったが、新型コロナウイルスについては複数回にわたり職員や利用者の感染が確認されており、発生頻度、業務継続計画に基づいた介護・看護ケアの簡素化の実施、感染拡大防止体制の確立等により早期に収束するよう努めた。

特養ホームの月稼働率は目標の95%に対し、92%(※令和7年2月現在)であった。入所に関しては待機者の確保と入所に至るまでのスピードが課題となっている。

短期入所生活介護(ショートステイ)は目標の60%に対し、44%(※令和7年2月現在)前年度の利用数を下回っている。施設で発生したコロナウイルス感染の影響が大きく影響している。リピーター獲得に向けた取組、空床利用の活用、困難事例や緊急利用者の受入体制の構築が課題となっている。

※利用者数の実績報告は5月理事会での資料提出とする。

【各種外部研修・行政等主催研修参加状況】

開催日	研修名	参加者	主催
R6.6.19	利用者中心の支援を考える虐待防止研修会	介護支援専門員	長崎県社会福祉協議会
R6.7.4	令和6年度長崎県高齢者権利擁護推進員養成研修	生活相談員	長崎県長寿社会課
R6.7.12	チーム作りのためのアンガーマネジメント研修会(虐待防止)	介護主任	長崎県社会福祉協議会

R6.7.29	令和6年度調理従事者研修会	管理栄養士	佐世保市保健所
R6.8.23	介護実習指導者養成研修	介護副主任	長崎県介護福祉士会
R6.9.18	施設のリスクマネジメント研修会 (安全対策体制)	生活相談員	長崎県社会福祉協議会
R6.10.10	基礎から学ぶ！インフルエンザ対策～新型コロナウイルス感染症も含めて～	看護職員	長崎県看護キャリアセンター
R6.12.12	高齢者の運動機能回復とリスク管理 『安全・安楽・自立・QOL』を意識した食事介助技術	看護職員	長崎県看護キャリアセンター
R7.2.13	重大な事件・事故発生時に備えた医療体制のあり方	看護師長	長崎県看護キャリアセンター
R7.3.3	令和6年度長崎県高齢者権利擁護推進員養成研修	介護副主任	長崎県長寿社会課

【内部研修報告】

開催日	研修名	内容
R6.4.25	接遇マナー研修	接遇マナーの重要性と基本の5原則
R6.5.27	業務継続計画(感染症)研修・訓練	BCPとは何か？ 施設内療養の手順確認・コロナ初動訓練
R6.6.26	高齢者虐待防止研修	外部研修受講者伝達 虐待のグレーゾーンの存在
R6.7.15	介護事故防止研修(書面研修)	事故発生時の対応について
R6.8.27	感染症対策研修・訓練	食中毒について ガウンテクニックについて
R6.9.25	看取りケア研修	看取り介護指針の確認 看取り介護の実践と内容について学ぶ
R6.11.25	高齢者虐待防止研修	3つのロックについて 行動抑制することで起こるリスクについて グループワーク
R6.11.25	業務継続計画(自然災害)研修・訓練	想定すべき自然災害について 停電発生時の訓練
R7.1.28	認知症ケア研修	行動心理症状について

R7.1.28	生産性向上研修	ICT導入説明
R7.2.25	身体拘束廃止研修	身体拘束の禁止説明 緊急性を要する際の手順について
R7.2.25	アンガーマネジメント研修	3つのコントロールについて
R7.3月	感染症・介護事故防止研修・訓練	

◎新人職員・・・新人職員研修実施(2日間)

地域密着型通所介護(デイサービス)事業実績報告

本年度も基本的感染対策を徹底したうえでサービス提供を行ったが、令和7年1月上旬から中旬にかけて、新型コロナウイルスの集団感染が発生。職員3名・利用者10名の罹患者を確認する。同居家族の発熱者や風邪症状者が居る場合の通所利用の受入について、感染拡大リスクが高いことから当事業所では利用休止とすることを徹底する。

利用者者数について利用定員80%を目標設定していたが、75%(R7年2月末)と減少している。要因として特養ホーム入所者の増加や自然災害・コロナ関連での利用休止が大きく影響した。新規利用者受け入れについては要支援者において増加傾向にある。個別機能訓練や体操・脳トレーニング・作業レクと多彩なプログラムを計画。

今年度よりSNS(Instagram)を用いて利用者家族や外部に利用時活動を伝える取り組みを開始。利用者家族や他事業所から評価を得ている。

※利用者数の実績報告は5月理事会での資料提出とする。

【研修報告】・・・特養と同様の為省略する。

居宅介護支援事業所 事業実績報告

本年度も感染対策を講じながら、市・県・各職能団体が主催する連絡会・勉強会・事例検討会・外部研修へ積極的に参加した。

近隣の地域包括支援センターや医療機関からの新規対応を積極的に行うも、本年度は施設入所に伴う支援終了件数も多く、令和6年度の平均担当件数は要介護27.0件、要支援11.8件となった。※R7年2月末現在。

俵ヶ浦半島居宅者を中心に居宅介護支援事業を展開するなかで、社会資源の枯渇や独居及び老夫婦世帯の支援困難者が増加している傾向がある。その中でも中重度者や支援困難者の積極的な対応を実践している。次年度は地域サロン等とも連携し柔軟に介護相談ができる環境を支援していく。